



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北九州市を中心とした福岡県及び山口県その周辺地域の産業発展に貢献しています

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.46

2026年冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 吉田 剛

初春のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃からNPO法人北九州テクノサポートの活動へのご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ウクライナとイスラエルを巡る2つの戦争は世界を分断し、中国経済の減速と米国トランプ関税に伴い、世界の社会経済状況は大きく変動しつつあります。一方、国内では女性初の首相の誕生で新たな時代が始まりました。また、地球温暖化の進展で夏の異常な暑さが、10月まで続きCO₂削減は喫緊の課題となっています。九州経済調査協会による昨年の発表時点では、九州経済成長率見通し+1.4%が、2025年9月に改訂され、社会情勢変化で+0.7%に下方修正されています。主な下押し要因は、物価高の長期化で消費の冷え込み、設備投資・輸出の伸び悩みなどが挙げられています。本年はこれらの社会経済の情勢が改善し明るい灯が見えるような年となるよう祈願します。

当法人は、北九州・山口県を中心に高度技術や豊富な人脈を有し、定年後も活動を続ける意欲を持ったOB人材を中心に、独立して自身の技術を社会に活かしたい方々も交え、地場の中小企業を中心に支援の輪を広げ、地域振興に力を入れています。

一昨年10月に、(一社)環境共創イニシアチブ(SII)から中小企業等に向けた

省エネルギー診断事業の実施事業者として登録され省エネ診断の実施組織となり、本年も本事業に参画しました。本年は、GXとDXを通じた未来の社会構築へ向けた取組みとして、下記の取組を進めます。

- ① EA21地域事務局環境未来の山口県、福岡県、北九州市の環境局と連携した新規企業の登録促進活動
- ② SII省エネルギー診断拡充事業による中小企業の温暖化ガス排出量削減支援はEA21支援地域に加え、大分県・熊本県への協力
- ③ よろず相談による地場中小企業向け技術支援とスタートアップ企業への伴走支援
- ④ (公財)北九州活性化協議会からの委託による北九州市風力発電人材育成連絡会の業務支援事業と新しいインターンシップコーディネイト事業
- ⑤ (公財)北九州観光コンベンション協会からの委託による展示会を通じたビジネスマッチング事業強化

当法人の活動は、地域の関係機関・企業の皆様のご支援に支えられています。当法人をご活用いただき、共に成長する地域の技術集団として、本年もご愛顧いただければ幸いです。末尾ながら、皆様にとり多き一年となりますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 「北九州地域の半導体関連産業におけるポテンシャル分析と期待」

北九州半導体ネットワーク(KSNet)事務局 森永 康裕¹、一徳 仁²、片山 二郎³、丸田 秀一郎⁴

国の半導体産業再活性化施策を受け、北九州市では「北九州半導体ネットワーク(KSNet)」を発足し、国内外約150社・機関に参画頂き推進活動を展開しています。半導体産業界はシリコンサイクルを繰り返しながら成長し、2030年に全世界で100兆円規模と推測されていましたが、既に150兆円規模に上方修正されています。KSNetでは推進活動の一環として、国内外半導体産業界の皆様と北九州地区の可能性をリサーチしていますので、皆様に紹介させていただきます。

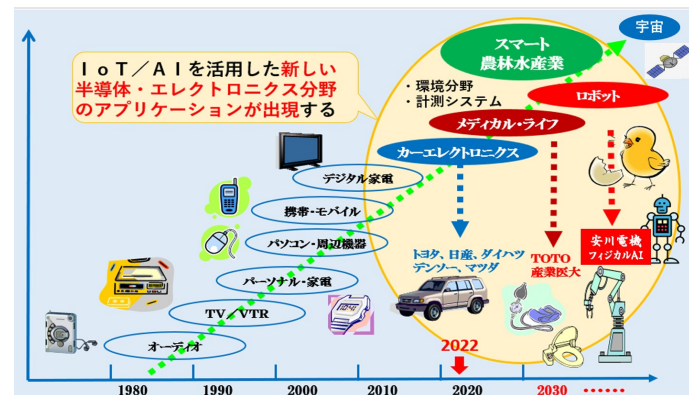
半導体産業は三分野に大別されます。まず素材を加工して半導体素子を製造したり、外周器に封じ込める「半導体プロセス事業(X軸)」、次に半導体素子を設計及び試作した製品を評価・解析し応用製品に組み込む「半導体システム事業(Y軸)」、最後にX、Y軸の各工程に部品(ハード・ソフト)や設備を供給・支援する「半導体サプライチェーン事業(Z軸)」の立体構造で構成されています。過去IDM的の事業で生産されてきましたが、事業規模の拡大に伴い、各工程が水平分業の形で分散され、それぞれの地域で特徴を出した産業活動に移行してきました。(IDM: Integrated Device Manufacturer)

北九州地域の半導体産業のポテンシャルを分析します。北九州には嘗て大手半導体企業の北九州工場があり、現在でも、そのサプライチェーン企業群(Z軸)が100社程度存在しており、半導体製造に係わるサプライチェーン群(Z軸)の産業資産を抱えています。

特に半導体を計測評価する世界規模のテスター企業の九州支社の存在に加え、半導体の微細加工に必須のプロセスケミカル企業の工場が立地されており、今後、世界の4割程度を生産し北九州の港湾から全世界のラインに向けて出荷が始まると期待されています。この素材の研究開発も九州工業大学戸畑キャンパスにマテリアル工学科が存在し、産学官にて世界の半導体生産ラインへの供給基地に成長して欲しいと期待しています。

ところで、今後、北九州地区で最も期待できる分野があります。それは半導体システム事業(Y軸)です。今後、北九州学術研究都市(ひびきの)を核とした「みらい半導体システム産業創出」が可能と分析しています。

ここには、半導体を使って頂く顧客企業との仕様設計、回路設計、評価・解析を行う一連の半導体システム開発に向け、国内外専門企業の集結が始まっています。特にこれからの半導体の応用分野の顧客層(車載、ロボット、メディカルライフ、スマートアグリ...)が、北九州地区に立地されており、他地域に対して差別化できる事が最大の特徴です。また学研都市内には半導体システムの研究者を多数抱え



ており、北九州地区は半導体企業の「半導体システム技術センター」的な位置づけになると考えられます。

KSNetでは、北九州域内のDX・GX産業及び次世代アプリケーション産業を、半導体・エレクトロニクス技術で支える「半導体システム産業」と「半導体ケミカルマテリアル産業」の街として発展することを期待して、今後も活動を推進していきます。

著者所属及び役職

1. 北九州市産業経済局 未来産業推進部長
2. (公財)北九州産業学術推進機構半導体産業支援センターセンター長
3. 同 半導体産業支援部長
4. 同 半導体特任コーディネータ(兼)北九州市産業経済局参与



新年おめでとうございます。

昨年の北九州市は、「潮目が変わった」と実感できる成果が数字として表れた一年でした。企業誘致投資額、北九州港・北九州空港の貨物取扱量、U・Iターン就職者数、ふるさと納税寄附額など多くの指標が市政史上最高を記録。住み続けたいと思う市民が84%に達し、人口も転入超過の傾向が続くなど、北九州市の「稼ぐ力」と「選ばれる力」の高まりを物語っています。

にぎわいの面では、「すしの都 北九州市」の挑戦や「クロサキスイッチ」をはじめとした交流の広がり、アーバンスポーツの国際大会開催などが都市ブランドを一段と押し上げました。

この勢いは、民間投資にも波及しました。旦過市場の再生、物流施設の建設決定、デジタル企業の集積など、街の活性化を牽引する動きが続いたほか、空港貨物施設の竣工や戸畑枝光線(牧山・枝光間)の開通といった産業基盤の整備が大きく前進し、投資環境はさらに高まっています。

「女性」と「サステナブル」の取組も進展しました。女性の声を施策に反映させる流れを強化し、サステナブルの取組は、環境分野から地域コミュニティの再編にも広がりを見せました。また、「待たない」区役所窓口、学校給食の充実、保育料軽減など、身近な暮らしを支える改革も進みました。

今年は「シニアの力」と「暮らしやまちの彩り」が花開くよう、「歳を重ねることが楽しみになるまち」、「暮らしの向上を実感できるまち」を目指して挑戦を続け、日本の課題解決を先導するフロントランナーとしての存在感を高めてまいります。そして、この流れを力に、北九州市は“日本一、民間投資がしやすい都市”を目指し、人と企業が挑戦できる環境を整えていきます。同時に、物価高などの逆風の中でも市民の暮らしを守り、地域を豊かにしていくことに力を注ぎます。

投資を呼び込み、地域を支え、双方が高め合う—この両輪で北九州市の未来を切り拓きます。

ますます「おもしろい」北九州市の歩みに、どうぞご期待ください。

新春談話 各界トップマネジメント、新年を語る (順不同)

北九州商工会議所

会頭 津田 純嗣



あけましておめでとうございます。

本年が北九州テクノサポートの皆様にとりまして、幸多き年になりますよう、心より願っております。

近年、国内外の経済社会情勢は大きく動き続けております。昨年、経済の懸念材料として最も大きかったのが、アメリカ・トランプ大統領が課した貿易関税でしょう。ただ、現地の市場や消費者は冷静に受け止めていて、価格転嫁ができる環境になっています。日本国内でも理解は進んでおり、混乱は終息に向かっていくのではないかと考えています。

また、10月に高市新政権が発足しました。政府には実質賃金上昇に伴う経済好循環に繋がる政策を要望してまいります。物価対策を望む声は大きいですが、デフレマインドに逆戻りするのは避けたいところです。当会議所としては、景気を前に回す歯車である値上げ、賃上げ、利益の分配率アップを訴えてまいります。

北九州地域経済は、コロナ後から景気状況は改善しつつも人手不足感が高く、また中小・小規模事業者については、不況から完全に脱したとは言い切れない状況です。当会議所としては、賃上げに向けて努力してまいりましたが、実質賃金の上昇に伴う経済好循環には道半ばといえます。

北九州商工会議所の会員数は16年連続で増加しております。中小企業への経営や福利厚生支援などのサービス向上と全職員による会員訪問等、日々の努力が実を結んだ結果です。本年も小規模事業者へのDX支援など、会員に「寄り添う支援」を徹底してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社 安川電機 代表取締役社長 小川 昌寛



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

年始に行われたニューイヤー駅伝には、弊社陸上部も出場し、沿道からの熱い声援を受けながら選手たちは力強い走りを見せました。

昨年を振り返ると、大阪・関西万博では「未来づくりロボットWEEK」に、いちご選果や食器片付けを行うロボットを出展し、多くの来場者にロボット技術をご覧いただく貴重な機会となりました。また、12月にはソフトバンク株式会社との協業を発表し、12月3日～6日に開催された、2025国際ロボット展(iREX)で取り組みを紹介しました。日本では、少子高齢化による人手不足への対応や業務の高度化を背景に、さまざまな業界で自動化・省人化のニーズが高まっており、AIやロボット活用の拡大が求められています。両者がそれぞれの領域で培ってきた先進技術を掛け合わせることで、「フィジカルAI」領域における新たな自動化ソリューションの創出と社会実装を目指すとともに、人とロボットが同じ空間で安全かつ協調して働く未来の創出に貢献していきます。

昨年10月の中間決算では、通期業績見通しを上方に修正しました。この流れの中で今年は、現中期経営計画「Realize25」を経て、次なる長期・中期経営計画へと移行する年となります。当社のソリューションコンセプト「i³-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」を実践する次世代工場であるロボット第5工場も本格稼働いたします。同工場では、自動化と省人化により、変種変量に柔軟に対応できる生産体制を確立し、ロボットとその主要部品であるモータを一貫生産することで、お客さまへのタイムリーな製品供給を目指します。

お客さまの課題に真摯に向き合い、技術で貢献することで、サステナブルな成長を遂げる企業を目指し、一歩ずつ進んでまいります。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2026年が更なる飛躍の年になることを心より祈念して、新年のご挨拶いたします。

謹賀新年



TAIKO
refractories CO., LTD.
大光炉枝株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL : 093-871-1631 FAX: 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



本社における製機装具等の医療機器適用

義肢・装具/車いす/福祉用具/リハビリ機器

株式会社 有菌製作所
代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>



新年あけましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃より公益財団法人北九州産業学術推進機構の事業活動に、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

東西冷戦後の自由主義的グローバリズムに基づく世界経済は、マルチポーラルを経て、トランプ政権の関税政策により終焉を迎えました。米国のリセッションや中国経済のデフレ傾向の下で迎える新年は、混乱からの脱却を模索する節目の年になりそうです。安全に生活できる環境の確立を最優先する理念の下で、変革する技術社会を着実に進める持続可能な社会の構築を期待します。

北九州市では洋上風力が本格的に始動します。光発電や地熱などを含めると、九州は再生可能エネルギーの先端地域となります。

二酸化炭素の活用やアンモニア、新型原子力発電を含めると、近い将来に訪れるサステナビリティ経済において、中核的な役割を担う可能性を有しています。

北九州学術研究都市はG-City構想を実現すべく、大学や産業界と連携して、イノベーションの創出を目指して活動する所存です。人口が90万人を割り込む北九州市では、AI、DXやロボット等の新技術を活用した労働生産性の一層の向上が不可欠です。

さらにAIでも予測できない大学発の斬新なアイデアを、地域が得意とする精密加工や材料開発などの分野に適用して、半導体、モビリティ、ヘルスケアや情報通信などの分野でイノベーションを起こすことを熱望しています。

最後に、皆様にとりまして本年が良き年でありますことを祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。

新春致談 各界トップマネジメント、新年を語る (順不同)

(公財)北九州活性化協議会 会長 高城 いづみ

新年あけましておめでとうございます。



NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より公益財団法人北九州活性化協議会の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北九州活性化協議会では、産学連携で取り組む北九州市の中堅・中小企業の人材育成による地域力強化、次世代のものづくり人材を育成する「北九州地域産業人材育成フォーラム」や、次代を担う子どもたちの教育を地域社会全体で支える「小学校応援団」をはじめ、「1000人の夢資金」、「もったいない総研」の主要4事業を推進しています。

中でも、「北九州地域産業人材育成フォーラム」のインターンシップ事業は、数多くの学生の貴重な実践経験の場の確保、提供等ができて、より多くの地域企業を理解するきっかけづくりとなっています。

インターンシップを「自身の成長」という切り口で取り組んだ学生にとっては、企業の成長戦略や解決策を生み出すプロセスを体験したことにより、産業人材として自身の能力の飛躍に繋がったのではと強く感じています。また、学生を受け入れていただいている地域企業においては、次世代を担う産業人材育成の重要性を認識していただけているものと感じております。改めて関係者の皆様方には感謝申し上げます。

北九州テクノサポートにおける産学連携のコーディネート、企業のコンサルティングなどの機能は産業人材の確保の取り組みにおいて極めて重要であり、役割はますます大きくなっていくと考えております。北九州活性化協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポートの益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事 小石 富美恵

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協会の事業運営に格別のご厚情と、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は毎年7月に地域産業・企業の様々な事業課題の解決を目的に「西日本製造技術イノベーション」、「西日本DX推進フェア」、「エコテクノ」、「中小企業テクノフェアin九州」を柱とした総合展示会「課題解決EXPO」を開催しています。

北九州テクノサポートのコーディネーターの皆様には、地元企業のニーズと出展社のシーズとをつなぎビジネスマッチングをお願いし、毎年大きな成果につながっています。

また昨年は、多くの企業にとって課題となっておりますDX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組みについても、新しい高度な技術に対して真摯に向き合われる姿勢に深く感銘を受けました。

本年も7月に「課題解決EXPO2026」を開催し、出展各社の新商品・サービスの展示や業界動向・行政の施策を紹介する講演会・セミナーを通じて、地元企業の更なる取引拡大や業務効率化の促進など地域の課題解決に貢献してまいりたいと考えております。

また、皆様をお願いするビジネスマッチングは本展示会の大きな魅力のひとつとなっており、その実施には長年の経験と知識をお持ちである皆様のご支援が不可欠です。今後もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポート様の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年



蛍光灯生産終了
LEDの更新はお任せください



熱中症対策
空調機の更新はお任せください



KOSEI JAPAN

限りある資源を未来に 地球環境に貢献!



株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都郡刈田町港町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141
https://www.kosei-japan.com



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
https://www.chigusa.co.jp

新春随想

2026年(令和8年) 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 御幡 弘明



新年明けましておめでとうございます。

貴法人におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいております。

会員の皆様の熱心な活動に深く敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

人手不足、原材料価格の上昇など中小企業の皆様を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。本県の雇用の8割を担い、地域経済を支えている中小企業の振興は、県の産業施策における最重要課題です。

県では、中小企業の皆さまの生産性向上のため、企業診断から改善提案や設備導入まで一貫した支援を行う「福岡県中小企業生産性向上支援センター」を全国で初めて開設し、アドバイザーの現場訪問

など伴走型の支援を行ってきました。

そして、令和7年10月からは、中小企業の皆さまのDXを強力に推進するため、支援センターを「福岡県中小企業DX推進センター」にリニューアルしました。新たにDXアドバイザーを配置し、企業に寄り添った生産性の向上およびDXの支援に全力で取り組んでいます。

また、工業技術センターに中小企業の新技術・新製品開発等の取組を支援する機器を多数導入し、企業の収益向上に関し技術面から支援を行っています。

県としましては、今後も、多様で活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。引き続き貴法人の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴法人のさらなる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。

新春致談 各界トップマネジメント、新年を語る (順不同)

西日本工業大学 学長 鶴田 隆治

新年あけましておめでとうございます。



NPO法人北九州テクノサポートの会員、関係者の皆様には、平素より西日本工業大学の人材育成ならびに産学連携活動に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

西日本工業大学では、令和6年度から始まった5ヵ年中期計画の下、「学生の可能性を拓ける大学」「社会の課題解決に貢献する大学」を掲げ、教育研究と地域貢献を一体的に推進しております。教育面では、急速に進展する生成AIを活用した学びを本格化し、学生の自律的学習と創造力を伸ばすための活動を開始しました。研究面では、本学の特色を明示すべく設置した「総合防災研究所」「水環境R&D(保全と開発)共生技術研究所」「テクノロジーアート研究所」「スポーツテクノロジー研究所」「ひとまちデザイン研究所」の5研究所を核に、共同研究や実装型プロジェクトを通じた課題解決に組織的に取り組んでいます。

また、高校の探究学習と本学のPBLを連動させ、高校生と大学生が同じフィールドで協働し、地域課題の解決に挑むチャレンジ授業「マナビバ」を開始しました。学びの早期接続から社会実装までを見通した高・大・産の連携による人材育成となりますので、新たなコーディネートをお願いできれば幸いです。

なお、今年4月には文理融合型の新学科「情報マネジメント学科」がスタートします。地域のDXに真に必要な「IT技術に精通したマネジメント系人材」の育成に貢献していく所存です。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様のご健勝とご発展を祈念するとともに、本年も変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

(賛助会員)株式会社新大倉 代表取締役社長 中崎 智宏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。



本年は丙午ということで、出生率低下が起きない事を願いつつ、干支にあやかり、会社が飛躍的な成長を遂げるようにと願っているところでございます。

さて、当社の概要をご説明しますと、建設業のプラント工事を主たる業務として事業活動しております。祖業の地は北九州で、67年前に会社を設立以来、北九州工業地域の発展の一助を担ってきました。セメント工場、原子力発電所、造船所に常駐して各種工事に携わり、地元採用を中心とした社員で構成されております。

しかしながら、建設業は求職者から不人気業種である為、当社もご多分に漏れず採用に苦戦している中、北九州テクノサポート様には、北九州地域産業人材育成フォーラム様主催のインターンシップにて多大なるお力添えを頂いております。

建設業を取り巻く環境は人手不足だけでなく、高齢化や技術継承など課題が山積しており、体力の無い会社では生き残りが厳しい状況と思慮しますが、逆にチャンスであるとも言えると思います。顧客と強い信頼関係を結ぶ事が出来れば、建設会社が減少する中においては重宝され、長年に渡って事業を安定化する事が出来ます。当社では、チームワークとプロとしての心構えを重点項目と位置づけ、社内外通じて感謝の心を育む活動に取り組み、生涯を振り返った時に良い職業人生を歩んだと胸を張って言える社員の育成に日々励んでおります。

設立が古い会社ではありますが、日々、人間力と技術力を高めるべく努力する会社でございますので、どうぞお見知り置き下さいます様、宜しくお願い致します。

結びとなりますが、皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹賀新年



フォーラムを活用して インターンシップをやってみませんか？

産業人材育成フォーラムは、KTS・北九州の工学系大学と連携し、人材育成の為にインターンシップに取り組んでいます



北九州地域産業人材育成フォーラム
(公益財団法人 北九州活性化協議会)

詳しくはコチラ

九州最大級の製造現場向け展示会!!

2026 7.8[水] ▶ 7.10[金]

西日本製造技術
イノベーション

中小企業テクノロジー in 九州

西日本製造

検索

中小企業テクノ

検索

西日本総合展示場

小倉駅 5分

公益 北九州観光コンベンション協会
Kitakyushu Convention & Visitors Association

Topics 2 SII省エネ診断の現状と今後の展開について

技術・環境経営ものづくり支援Gr.長 吉田 剛

昨年度のSII省エネクイック診断の実施に引き続き、本年度、**SII省エネ診断(正式名称:令和6年度補正 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費)**の実施団体に登録され、省エネ診断を進めています。補助金事業は診断費用の9割が補助され、実施企業の負担が軽く、費用を掛けずにできる提案もあり実施成果が期待できる事業です。

専門家は省エネ診断のベテラン技術者で、多数の診断実績を有しています。

本事業は①ウォークスルー診断・②IT診断・③伴走支援の3部から構成され、当法人は①と③を診断事業としています。9月の説明会を皮切りにEA21の実施企業様を中心にPRを強化しておりますが、目標とする25件には、道半ばであり、営業活動に力を入れております。①ウォークスルー診断はエネルギー消費の大きい設備や使用の工夫で省エネ化が可能と予想される身近な設備を中心に専門家が現場で運転される方々対話して省エネ案を創出するものです。

③伴走支援は省エネの指定設備があらかじめ設定されており、老朽化設備を最新設備に更新により省エネが期待できる場合、設備導入補助金を活用できます。その申請に係る活動をサポートします。

ご関心ある事業者の方々には、事業の説明から申し込み、診断、診断後のサポートまで細かなご支援をさせていただきます。

省エネ診断・伴走支援を受けた方々の声を以下に紹介します。

- 専門家の視点での的確なアドバイスをもらい、今後の省エネ取組のイメージが持てた。
- 投資0円ですぐに始められる省エネ提案もあり、取組みやすかった。
- 補助金申請の相談にも気軽に乘ってもらえた。
- 現状の取組みの定量的な評価により、何に注力して取組むべきか明確になった。

① ウォークスルー診断

設備の管理状況を診断し、エネルギーの無駄遣いや省エネにつながるヒントを見つけ、コスト削減の提案をします。



5,720円～48,840円
※診断を実施する設備の種類や設備稼働状況、年間のエネルギー使用量等に応じて変動

② IT診断

計測機器で取得したデータを活用し、設備やプロセスごとのエネルギー使用状況の見える化、分析等を行い、省エネ対策を提案します。



22,000円～55,000円程度
※実施内容に応じて設定、最大228,000円

③ 伴走支援

更新設備の最適仕様の調査、補助金等の申請サポート、省エネ・再エネ取組の定着支援等、幅広いサポートをします。



11,000円～22,000円程度
※実施内容に応じて設定、最大48,840円

エコアクション21地域事務局環境未来の活動状況

事務局責任者 手島 邦彦

(1) **エコアクション21導入セミナー**: 6月25日にZoomでリモート形式の導入セミナーが開催され、山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県(古賀市、飯塚市、北九州市)の事業者を対象に、新規認証・登録事業者の拡大を目指した。

(2) **アフターフォローアップセミナー**:

10月15日に既存の認証・登録事業者向けにアフターフォローアップセミナーをZoomで開催し、エコアクション21のシステム復習が行われた。講師としてエコアクション21審査員の佐藤審査員・蔵元審査員が登壇し、その後、推奨された



導入セミナー及び実践講座(R7.7.25)

2社が自社の取り組みや改善事例を発表した。参加者からは好評を得ており、今後の活動促進に繋がると期待される。

(3) **北九州市長感謝状授与**: 14年目を迎えた北九州市長感謝状授与制度では、環境に配慮した取り組みを行った「白石鉄工(株)」、「社会福祉法人北九州手をつなぐ育成会」、「(株)九州発条」、「岡野バルブ製造(株)」の4社に感謝状と記念品が授与された。

(4) **認証・登録事業者数の拡大**: 現在、全国で約7,567社がエコアクション21に認証・登録され、当地域事務局では約337社を担当している。温室効果ガスの削減や環境活動に積極的に取り組む企業が増加することが、地球環境保全にとって重要であり、今後さらに多くの企業がエコアクション21を導入することを期待したい。

午

謹賀新年



インバウンドのお悩みを手軽に解決!

多言語翻訳放送装置

QuaVoice

「話した言葉がすぐ翻訳できる
放送装置があったらいいな」を実現!

- ✓ フレキシブルな翻訳機能
- ✓ 汎用性の高い放送機能

New! ニュールTTSエンジンを搭載
紹介動画もリニューアル



「北九州発! 新商品創出事業」
認定商品に選ばれました!

株式会社 **カンノ製作所** [本社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上高野 1-5-25
TEL (093) 521-9531 FAX (093) 511-6470
<https://kanno.co.jp>



九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号

取扱製品



分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・フックボルト・ケミカルアンカー
トンネル用H型支保工・鉄道車両部品
道路照明灯・タイプレート・記念品事業

お掃除ロボット・配送ロボット始めました!



産業用ロボット安全特別教育実施中!!

SC 有限会社 ICS SAKABE

〒802-0062 福岡県北九州市小倉北区片野新町2-2-21
TEL: 093-932-7480 FAX: 093-932-7481
URL: <http://www.icssakabe.com>

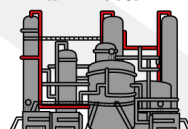


株式会社 新大倉
Engineering, Procurement and Construction

新大倉

検索

工場がお客様です



その工場の

Engineering
設計

Procurement
調達

Construction
工事

が仕事です

NPO法人北九州テクノサポート支援グループ活動紹介

◆ IT活用支援グループ ◆

- (1) **NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立**: KTS会員からホームページ制作の専門家を確認し、広報・デザイン支援Gr.の協力を得て、事業計画、活動状況、KTS通信、賛助会員企業の広告など、適宜、更新している。
- (2) **中小企業のIT活用支援**: 地元中小企業の業務効率化に向けたIT化やDX推進の相談・技術支援やホームページ制作の支援をしている。
- (3) **「第4次産業革命」勉強会の開催**: 近年の目覚ましいAI技術進歩に乗り遅れることへの危機感より、2025年12月から勉強会を再開した。

★第4次産業革命勉強会★ (DXからAIXへ)

「第4次産業革命」は、IoT、AI、サイバーフィジカルシステム(CPS)、ロボットなどの活用により生産性を飛躍的に高めるものである。この新しい技術の流れを学ぶため、2016年1月から当初は隔月開催の自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げて来た。

2022年11月に登場したChatGPTなどの生成AIは、人間が発するデータを含めて処理することから、CPSの輪に人間が直接入り込むことを可能とし、種々の分野でAI活用が急速に広がり、2025年は、人間の業務をAIが代行するAIエージェント元年と言われる状態に至っている。生成AIやAIエージェントの活用が広範なビジネス分野において広がりを見せていることと自律ロボットやヒューマノイドロボットの基となるフィジカルAIの実用化も目前であり、中小企業支援やNPOの業務効率化の観点から我々もこの新しい流れを掴むため、2025年12月から毎月開催のペースで勉強を進めている。

◆ 販路開拓ビジネス支援グループ ◆

- (1) **課題解決EXPO2025でのビジネスマッチング(BM)支援**: (公財)北九州観光コンベンション協会主催、2025年7月2日～7月4日開催のBM事業支援について受託。2025年1月から活動を開始した。EXPO2025でのBM支援対象の出展企業は180社になり、出展企業のシーズを踏まえ担当する地元企業349社へ紹介し、会場への来訪 橋渡し・摺合せにより683件のBM支援を実施した結果、担当地元企業来場数94社、商談可能件数26件、商談見込み額7,246万円の成果を得た。

- (2) **次年度BM支援に向けての活動**: 課題解決EXPO2026の魅力・興味を呼び起こす活動を展開し、来場者数の増大を図ると共に地元中小企業の課題に対応する出展企業とのBMIにつなげる。各出展企業と連携で質の高い支援活動と成果に結びつくためにも、近年、注目を集めているDX、AIなどの技術勉強会によるコーディネーターのレベルアップや様々な意見を参考にしながら展開する。

◆ 広報・デザイン支援グループ ◆

- (1) **KTS通信**: Vol.44(2025年冬号)新年特集号を2025年1月に、Vol.45(2025年夏号)総会特集号を2025年7月に発行し、冊子配布及びPDF配信並びに、IT活用支援Gr.に協力しホームページに掲載。これらを媒体として会員企業(賛助・協賛会員)の広報支援の実施、各Gr.活動との協働での配付継続による広報誌読者の拡充や支援企業との関係づくりのツールとしての利用に供している。
- (2) **KTS事業紹介や会員企業紹介**: 展示パネル、プレゼンツール、広報資料等の更新PR媒体を提供し、販路開拓ビジネス支援Gr.のBM活動を支援した。又、2026年度展示会等を含めて利用する広報媒体の更新を進めている。

午

謹賀新年



ガラスレンズ金型 (超硬合金製)



自動車の**自動運転技術**に必要なカメラやセンサーに使用されるレンズを製造するには弊社の**『超精密加工技術』**が必要です。1/1000mm以下

株式会社ワークス WORKS Co., Ltd. 〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

Matsushima
Matsushima Measure Tech



株式会社 マツシマ メジャテック

お問合せは
コチラ

〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

マツシマメジャテック

検索



ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

POINT
01

安全・迅速 3D同時計測

POINT
02

Only one 北九州オンリーワン企業
kitakyushu only one company 2011

ドローンによる目視検査 (空撮)

30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載



POINT
03

高精度

POINT
04

直観的!!



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

三栄機工株式会社 福岡県知事許可(般-6)第99106

Designed for Today.
Engineered for Tomorrow.

“いつか”をかたちにするために...

〒800-0302 福岡県京都郡荏田町若久町3丁目22-5
TEL: 093-434-2737 FAX: 093-434-2738
https://www.sanei-kikou.co.jp/

天

PR LIGHT
フロライト株式会社

ブラズマランプ
検査・撮影用照明

シーリングファン
工場・倉庫の熱中症対策

地

(公財)北九州観光コンベンション協会

2025年11月26日に北九州メッセのオフィスをお訪ねし、高崎事業部長、高崎課長及び堀田様に同協会の現状と今後の取組についてお話を伺いました。(堀田理事・林理事)

■協会の沿革と業況

同協会は平成29年4月、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会と(公財)北九州市観光協会が統合した組織。国内外の工業製品等の展示紹介を通じて、西日本地域の産業の高度化と貿易の振興、北九州市における観光事業の健全な発展に資するとともに、コンベンションの誘致や支援を通じて地域の活性化および文化の向上に寄与し、もって北九州地域を中心とする我が国経済・文化の健全な発展に貢献することを目的に活動している。展示会・見本市や国際会議をはじめ、各種会議やスポーツ大会などの

コンベンション開催に際しては、経験豊かなスタッフが主催者をサポートし、温かいホスピタリティ精神で成功へ向けたお手伝いをしている。また、北九州市の観光情報発信や特産品・土産品など地場産品の紹介、「北九州おみやげ館」での販売などを通じて、地域の観光振興にも取り組んでいる。



北九州メッセ(旧西日本総合展示場新館)

■今後の展開

今後は、国際的な交流の拡大やデジタル技術を活用した情報発信の強化に努めるとともに、持続的な観光・コンベンションの推進を目指し、さらには地域産業との連携を深め、北九州市ならではの魅力を国内外に広く発信することで、観光と産業の両面から地域の発展に寄与される。特に、2026年7月開催予定の課題解決EXPOでは、2026年の注力テーマとして半導体、次世代エネルギー、DX・AIの各産業分野を掲げ、この分野の出展社を積極的に募る。これらは、同展の基本的な三つの構成要素(出展社による技術紹介、注目度の高いテーマのセミナー、販路拡大につながるビジネスマッチング)に加えて地域産業へ向けた情報発信における核となる要素として位置づけている。また、北九州地域の賑わい創出という観点から、コロナ禍でも中止せずリアル開催を継続した「陶磁器フェスタ」を引き続き開催される。

■KTSへの期待

課題解決EXPOの開催においてKTS様にお願いしているビジネスマッチング事業は、幅広いネットワークを活用した販路開拓の支援や人脈を活かした企業間の橋渡し、技術的知見を活用した課題解決の促進を目的としています。展示会でのマッチングを通じて、出展企業と地域の中小企業が連携し新たなビジネスチャンスを獲得できるよう、ものづくりの経験が豊かで技術力を備えたKTSの皆様にお力添えいただきたく存じます。

株式会社 ワークス

2025年11月26日に微細加工の先端技術を持つ同社を訪ねし、三重野社長及び総務部高下課長に同社の現状と今後の取組についてお話を伺いました。(日下理事・林理事)

■会社の沿革と業況

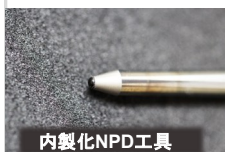
同社は平成3年、三重野計滋社長が研削関連機械・工具の取扱商社を創業、平成9年に製造業へ参入し超精密金型部品の製作を開始。以来「超精密」「高付加価値」な「ものづくり」を基幹とし、地元研究機関と連携し高耐久性特殊加工工具を開発。その高い技術力が顧客満足度につながり、レンズ金型、モーター部品金型などを国内外の大手メーカーから受注するほか、自動運転関連機器、第5世代高速通信分野で必要不可欠な部品等の製造技術を保有している。ここ数年では大学と共同研究でNPD工具の内製化を可能とし、自動運転技術の一つ、MLAガラス金型の加工が可能となった。今後このMLAの量産も考えている。MTフェールは今後増加するデータセンターで光ファイバー接続のキーパーツで、その成形時に必要な精密ピンの製作も可能になった。



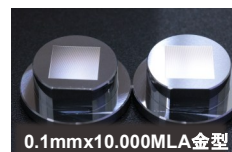
三重野社長



本社の建物



内製NPD工具



0.1mmx10.000MLA金型



MTフェール成型用精密ピン

■今後の展開

これまで培った微細加工技術を柱に、世の中が求めるものに直結する技術・商品を開発・製造していく。分野を決めた技術・製品はいずれ陳腐化するので、精密・微細加工に特化した技術をPRするため、展示会への出展、学会・工業会での発表等を通じて生じる要求に応える形で製品の開発、事業化に繋げる。時間と金はかかるが結果的には新たな商品作りの早道だと考えている。地域の同業者と連携して受注・製造することはBCPの観点からも必要と考えているが、同調していただけるかどうかが課題とのこと。

■KTSへの期待

当社にとっても人材の確保は急務ですが、会社の内容を知ってもらうことが課題で、インターンシップ・企業見学内容の工夫等、企業と学生を繋ぐ支援に注力してほしい。また、同業者と受注・製造の連携を進めるうえで必要なビジネスモデルの構築、人材育成、技術開発等々、幅広いご支援をお願いしたい。

◇ 法人概要

■所在地: 北九州市小倉北区浅野3丁目8番-1号 ■TEL: 093-511-6848
■代表者: 理事長 津田 純嗣 ■創立: 平成29(2017)年4月
■従業員: 61名
■事業: コンベンション、観光関連施設の管理・運営、見本市・展示会の開催、会議・大会の誘致、観光客の誘客・旅行事業等
URL: <https://hello-Kitakyushu.or.jp/>

◇ 法人概要

■所在地: 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津1445-1 ■TEL: 093-291-1778
■代表者: 代表取締役 三重野 計滋 ■創立: 平成3(1991)年4月
■資本金: 1,500万円 ■従業員: 54名
■事業: 精密微細部品の製造(光学レンズ金型事業、精密特殊ノズル事業、精密セラミック加工事業、精密医療バイオ機器開発事業)
URL: <https://wks-co.com/>

会員動静 (2026年1月10日現在)

正会員	法人会員(賛助会員、協賛会員)
68名	22組織

理事会構成

会 長 吉田 剛 副会長 古谷 長蔵、影山 隆雄 事務局長 堀 昭三
理 事 石川 聖二、川原 正明、木通 和洋、日下 尚司、蔵元 泰子、
関屋 建三、手島 邦彦、寺山 雅也、納富 信、林 慶三郎、
増本 耕平、松本 昭喜、渡邊 朝子 (以上、三役を除く理事 50音順)
監 事 徳永 昌哉、藤崎 正昭 (以上、監事 50音順)

◆KTS 支援グループ (6グループ)
◆エコアクション 21地域事務局 環境未来

正会員・賛助/協賛会員の募集(当法人は、会員の会費等で運営されております)

◇企業の第一線をリタイアされた皆様、お持ちの知識・技術・経験・人脈を生かして第二の人生を地域社会への伝承、更なる発展のために貢献・恩返ししてみませんか?

◇福岡、山口地域等の企業様、当NPO法人との協働で経営・技術の課題解決など、よりよい成果を目指してみませんか?もちろん、会員登録は必須ではありません。(^_^)

会員・賛助会員の会費

・正会員 入会金: 5,000円 / 年会費: 5,000円
・賛助会員(法人) 入会金: 10,000円
年会費: 20,000円 / 1口
(個人) 入会金: 5,000円
年会費: 5,000円 / 1口

検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け
ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート

広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.46」

令和8年(2026年)1月10日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org